

科目ナンバー	C8802	要件	選択	授業形態	講義	対象学生	II A III CD			
授業科目	病児保育									
実施期	前期	単位数	2単位	授業担当者	森本 美佐					
【科目の概要】										
働きながら子育てをしている女性にとって、子どもが病気になったときの対応は最も苦慮するところである。女性の積極的な社会進出を助けるために、病児・病後児保育のニーズは、年々増大している。そこで、この授業では、「子どもの保健（Ⅱ含む）」で学んだことを更に深め、病児・病後児保育の実際と課題を学び、「認定病児保育スペシャリスト」を目指す。										
【この科目を通して獲得を目指す力】										
							【関連DP】			
ア	発達段階や親の特性などからも、病児の特性や保育の留意点について考えることができ、試験に合格できる知識を身に付ける。						1-d			
イ	子どもの発達段階を踏まえ、健康障害を持つ子どもとその家族に対する援助能力を身につける。						2-c			
ウ	認定病児保育スペシャリストとして、子どもの生命の安全性の確保のため積極的に学習するとともに、保育者として自己の健康管理にも気を配ることができる。						4-c			
【授業の内容】										
				【実施日】	【授業時間外学習の内容】					
1	オリエンテーション 病児保育とは何か			月 日	web試験の復習					
2	病児保育の意義			月 日						
3	あるべき病児保育のかたち			月 日						
4	病児保育における遊びについて			月 日						
5	病児保育における1日の流れ			月 日						
6	病児保育の心理について			月 日						
7	病児保育におけるコミュニケーション			月 日						
8	感染予防			月 日						
9	代表的な子どもの病気			月 日						
10	基礎的な看病について			月 日						
11	病児保育におけるリスクマネジメントの基礎			月 日						
12	病児保育におけるリスクマネジメントの基礎と応用			月 日						
13	心肺蘇生・気道異物の除去			月 日						
14	実技(嘔吐処理)			月 日				実技レポート		
15	実技(応急手当)			月 日						
16	認定試験実施			月 日						
【教科書・テキスト】				【成績評価の方法】						
認定病児保育スペシャリスト試験公式テキスト 一般財団法人日本病児保育協会 英治出版				毎回のWeb試験の合格を「可」、認定試験の合格を「良」以上の評価とし、そこに実技・レポート点を加算する。						
【参考書・教材】										
保育者養成シリーズ「子どもの保健Ⅰ」加部一彦編 一藝社 「心とからだを育む子どもの保健Ⅱ」高内正子編著 保育出版社										
【履修要件及び履修上の注意事項】										
「子どもの保健」「子どもの保健Ⅱ」の平均成績評価が80点以上であること。 毎回web上での試験があるために、欠席は認められない。やむを得ない場合は、次の授業までに補習を受けることとなる。毎回の試験に合格しなければ、認定試験は受験できない。認定再試験については、協会との相談の上、実施する										
【履修上の遵守事項】										
毎回、終了後にweb試験があるので、時間を厳守し、合格できるように真面目に取り組むこと。										
【連絡先・オフィスアワー】										
連絡先:				オフィスアワー:						

【この科目を通して獲得を目指す力】		【関連DP】
ア	発達段階や親の特性などからも、病児の特性や保育の留意点について考えることができ、試験に合格できる知識を身に付ける。	1-d
イ	子どもの発達段階を踏まえ、健康障害を持つ子どもとその家族に対する援助能力を身につける。	2-c
ウ	認定病児保育スペシャリストとして、子どもの生命の安全性の確保のため積極的に学習するとともに、保育者として自己の健康管理にも気を配ることができる。	4-c

<チェックシート>

指標		基準		
		レベル1	レベル2	レベル3
ア①	病児の疾患と保育上の留意点と保育内容	子どもに流行する病気や症状、治療について述べるができる。	子どもの症状の対処方法や、病児保育に適した遊びなど保育上の留意点について述べるができる。	発達段階や親の特性などからも病児の特性をとらえ、保育内容を考えることができる。
ア②	病児を取り巻くリスクとマネジメント	病児保育中のリスクを述べるができる。	病児保育中の事故を未然に防ぐ方法を述べるができる。	病児保育中に事故が発生した場合に、応急処置だけでなく救急連絡などの適切な対応を考慮することができる。
イ①	病児保育を行う対象の理解と養育者の心理	健康障害を持つ子どもの生活上の制限を述べるができる。	健康障害により制限を伴う子どもや、親の心理を述べるができる。	子どもの発達段階を踏まえた上で、健康障害をもつ子どもとその親の諸問題を考えることができる。
イ②	病児保育中の子どもや家族とのコミュニケーション	子どもとの信頼関係が築けるよう笑顔を身に付けている。	家族との引き継ぎ時のコンタクトポイント（挨拶や清潔感など）を身に付けている。	クレーム対応ポリシーを考慮することができる。
ウ①	毎回のweb試験を活用した学びの発展	毎回のweb試験に合格するために、自己学習ノートに授業の学びの整理ができる。	毎回のweb試験に合格できる。	毎回のweb試験の振り返りを行い、認定試験に1回で合格できる。
ウ②	病児保育スペシャリストとしての自己の健康管理	感染のメカニズムや病気の子防方法を述べるができる。	自己の健康管理の課題を述べることができ、遅刻・欠席しないよう努力できる。	自己の健康管理ができ、遅刻・欠席しない。

この科目を通して学んだこと、獲得できた力、できなかった課題等